

第2回村山市立小学校東部地区統合準備委員会

議事 次第

日時 令和7年9月10日（水）18:30～
場所 市農村環境改善センター 多目的ホール

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

（1）事業報告等について

資料1

（2）統合準備検討項目とスケジュールについて

資料2

（3）優先的検討項目について

資料3

No. 1 学校名称

No. 28 学校給食

No. 32 スクールバス

No. 35 学童保育

No. 53, 54 校舎等改修

（4）その他

5 閉 会

第2回村山市立小学校東部地区統合準備委員会出欠名簿

□委員

(順不同・敬称略)

No.	カテゴリー	氏 名	所属団体等	所属部会	備考
1	地域代表	鈴木 悟	楯岡元気なまちづくり協議会長	総 務	
2		日塔 和好	楯岡地域代表	地域連携	
3		工藤 和典	西郷地域代表	総 務	
4		鈴木 司	大倉地域元気な街づくり協議会	校舎整備	
5		富樫 裕幸	袖崎地域市民センター長	地域連携	
6		永井 雄大	袖崎地域代表	総 務	
7	学校保護者	金森 成裕	村山市立楯岡小学校保護者代表	総 務	19時退席
8		黒沼 洋	村山市立西郷小学校保護者代表	学校運営	
9		松田 英之	村山市立袖崎小学校保護者代表	校舎整備	
10		佐藤 政史	村山市立楯岡中学校保護者代表	地域連携	
11	認定こども園等代表	奥山 博貴	楯岡幼稚園保護者代表	校舎整備	
12		栗野 恭介	しょうよう保育園保護者代表	校舎整備	
13		矢萩 好彦	輝認定こども園保護者代表	学校運営	欠席
14		鈴木 立	ひばり保育園保護者代表	地域連携	
15		齋藤 浩太	西郷認定こども園保護者代表	学校運営	
16		八鍬 瑞穂	ふたば袖崎保育園保護者代表	学校運営	
17	小中学校代表	井上 敏春	村山市立楯岡小学校長	教育課程	
18		佐藤 淳	村山市立西郷小学校長	教育課程	代理：大沼教頭
19		高橋 郁子	村山市立袖崎小学校長	教育課程	
20		加藤 淳一	村山市立楯岡中学校長	教育課程	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所 属	氏 名	兼 務	主担当部会	備考
1	教育長	大内 敏彦		-	
2	学校教育課 課長	細谷 充	学校統合推進室 室長	総 務	班 長
3	教育指導室 室長	村田 紳	学校統合推進室 室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課 課長補佐	高橋 留美		総 務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室 推進主査	学校運営	班 長
6	庶務係長	鈴木 夕佳		総 務	副班長
7	栄養業務員	石山 陽子		学校運営	
8	施設係長	細谷 祐太	学校統合推進室 推進係長	校舎整備	班 長
9	学事主査（兼）係長	森 忠昭		学校運営	副班長
10	主事	海老名秀喜		校舎整備	副班長
11	指導主査（兼）指導主事	森谷 洋子		教育課程	副班長
12	指導係長（兼）指導主事	半澤 宏樹		地域連携	副班長
13	学校統合推進員	井澤 豊隆	学校統合推進室 学校統合推進員	地域連携	班 長
14	学校統合推進員	笹原 聡	学校統合推進室 学校統合推進員	教育課程	班 長
15	生涯学習課 課長補佐	柴崎 造		地域連携	
16	主事	大山 温子		地域連携	
17	子育て支援課 課長補佐	菅原 憲一		学校運営	

※事務局担当者は、記載されている主担当部会の他にも所属している部会があります。

村山市立小学校東部地区統合準備委員会 資料

1 事業報告

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	6月10日	火	第1回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	6月15日	日	むらやま統合TIMES（創刊準備号）発行	—
3	6月17日	火	統合推進室打合せ（専門部会員決定）	村山市役所内
4	7月1日	火	むらやま統合タイムズ（第1号）発行	—
5	〃		教育課程部会作業班打合せ	楯岡中学校
6	8月5日	木	統合推進室打合せ（統合準備委員会関連）	村山市役所内
7	8月15日	金	むらやま統合タイムズ（第2号）発行	—
8	8月22日	金	統合推進室打合せ（統合準備委員会資料）	村山市役所内
9	9月1日	月	むらやま統合タイムズ（第3号）発行	—
10	9月2日	火	学校運営部会作業班打合せ	村山市役所内
11	9月4日	木	校舎整備部会作業班打合せ	〃
12	9月8日	月	統合推進室打合せ（統合準備委員会）	農村環境改善センター
13	9月10日	水	第2回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
14				

2 事業予定

No.	項目	内容	部会

3 今後の会議予定

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	12月10日	水	第3回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	3月10日	火	第4回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
3			※各専門部会、作業部会は随時開催	小会議室 等

検討項目		No.1		学校名称		R7.8.12 作成					
《スケジュール》				【部会名】		総務部会		【担当者】		秋久保 洋紀	
年		月		日		内容					
07		09				作業班、総務部会にて校名変更の必要性について協議					
		12		10		準備委員会にて方向性の決定(変更の有無、決定方法)					
						《以下必要により》					
		01				在校生、保護者(学校、こども園)、教員、一般市民へのアンケート実施					
		02				作業班、総務部会 (アンケート結果を踏まえ、方向性(案)を協議、決定)					
		03		10		準備委員会 (アンケート結果を踏まえ、方向性(案)を協議、決定)					
		03				教育委員会議、総合教育会議で承認					
08～						条例・規則改正					
課 題		・校名を変更する必要があるのかを検討する必要がある。 ・改修工事が必要となり補助金が該当する場合、条例改正が条件となる可能性がある。									
調 整		専門部会、統合準備委員会									
予 算		特になし									
着手時期		令和7年9月									
完成時期		令和8年度									

検討期限		令和7年度内		説明	☒ 市長 ☒ 市議会 ☒ 学校 ☒ 地域 ☐ その他()		
No	検討案	内 容			備考(○メリット/▲デメリット)		候補
1	校名継続	・現「楯岡小学校」を継続 ・西部地区のような形態変更ではない			○児童数が多く、慣れ親しまれている校名である ○校名変更に比べて、条例・規則の改正が少ない ○中学校との連携において同じ名称のほうが連帯感がある ▲真新しさが無い		
2	校名変更	・変更方法について、検討・協議を行う			○新しい学校として再スタートする印象がでる ▲児童数が多く、慣れ親しまれている校名である ▲校名変更に比べて、条例・規則の改正が多い ▲中学校との連携において、違う校名では接続イメージが希薄である		
3							
4							

◆特記事項等

大倉小学校、西郷中学校・袖崎中学校、戸沢中学校・大高根中学校の統合時は、それぞれ統合先の学校名で統合している。
楯岡中への統合時は、西郷・袖崎地区より新学校名について要望があり、地区説明会など大いに議論されたが、最終的には教育委員会の判断に委ねられ、市民アンケートを参考に決定。

イメージ図・写真等

《スケジュール》			【部会名】	学校運営部会	【担当者】	秋久保 洋紀
年	月	日	内容			
07	09	02	第1回学校運営部会作業班打合せ(原案作成・検討)			
	09	10	第2回東部地区統合準備委員会(状況報告)			
			第2回学校運営部会作業班打合せ・専門部会(方針検討)			
	12	05	予算化(改修規模により基本設計)			
	12	10	第3回東部地区統合準備委員会(方針決定)			
08	03		教育委員会、総合教育会議(方針確定)			
	07		基本設計発注			
	11		予算化(実施設計)			
09	07		実施設計発注			
	11		予算化(改修工事)			
10	06		契約、改修工事着工			
11	03		改修完了			
課 題	・給食施設の改修規模について検討が必要(休憩室の拡張から楕中へのセンター方式まで) ・ランチルームの活用について検討 ・改修期間中の給食方法について ・食材の数量確保					
調 整	準備委員会、専門部会、給食業者					
予 算						
着手時期	令和7年9月					
完成時期	令和11年3月					

検討期限	令和7年度内	説明	☒ 市長 ☒ 市議会 ☒ 学校 ☒ 地域 ☐ その他()
------	--------	----	---

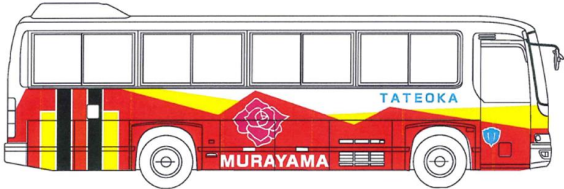
No	検討案	内 容	備考(○メリット/▲デメリット)	候補
1	現行の給食方式	・小学校はおかずのみ自校、米はセンター方式 ・中学校は天童給食センターによるデリバリー方式	○現状と変わらないため、改修はほぼ不要で維持経費など最小限で済む(調理器具更新程度) ▲業者選定・衛生管理の指導徹底が必要 ▲参入業者が少なく継続できるか不透明 年間経費: 約6,600万円	
2	自校方式	・小学校給食施設は調理器具更新程度 ・中学校給食施設を新設	○給食を適温で提供できる ○配送不用 ▲改修初期投資に3~4億円必要 ▲調理師が増加し人件費がかかる 年間経費: 約5,600万円	
3	楕小から楕中へのセンター方式	・小学校給食施設での食数増に対応するための改修	○移動距離が短く、比較的適温で提供できる ○大量調理のため作業効率がよい(人件費含む) ▲改修初期投資に3.5億円必要 ▲運搬経費がかかる(概算720万円/年) 年間経費: 約5,300万円	
4	民間調理配達方式	・小学校も天童給食センターによるデリバリー方式に切り替える	○施設改修費、維持費がかからない ▲保護者等より理解を得難いのでは ▲参入業者が少なく継続できるか不透明 年間経費: 約7,600万円	

◆特記事項等

イメージ図・写真等

検討項目		No.32	スクールバス運行(購入)				R7.8.25
《スケジュール》				【部会名】	学校運営部会	【担当者】	海老名秀喜
年	月	日	内容				
7	9		アクションプラン計上				
8	9		今後の人数の把握、購入台数決定(追加で3台購入の合計5台体制)				
9	11		購入予算化				
10	4		入札				
10	9		バス納車				
	10		テスト運行期間 停留所への看板設置				
	3		テスト運行期間				
11	4	7	スクールバス運行開始				
課 題	・バス購入台数の検討 ・バスのデザイン ・バス以外の車両の購入						
調 整	・へき地補助金申請 ・バスの車庫(施設係) ・技能士、楯岡交通との調整						
予 算	約1台1,500万円						
着手時期	令和8年度内						
完成時期	令和11年3月						

検討期限		令和8年度内		説明	☐ 市長 ☐ 市議会 ☒ 学校 ☐ 地域 ☒ その他(財政課)		
No	検討案	内 容		備考(○メリット/▲デメリット)		候補	
1	3台購入 ・中型1台 ・マイクロ2台	☐ 西郷小学区、袖崎小学区の児童を対象とした際の必要台数。 西郷地区:56人 袖崎地区:21人 (令和11年度予定人数)		○運転手確保状況にもよるが5台1便体制で運行可能。			
2	新たなデザインの採用	☐ 藤代先生等のデザイナーに依頼をし、ラッピングを行う。 ☐ 生徒よりデザイン募集→修正→デザイン決定		○楯岡小学校のスクールバスとして認識される。 ○子どもたちが学校に行く意欲につながる。 ▲ラッピング「しない」と比較して費用がかかる(ラッピングしなくても良いのではないかという意見も準備委員会であり) R2葉山中ラッピング費用:140万			
3	ハイエース等の購入	☐ 下校時間は各学年で異なることからそれに合わせてハイエースを購入する。		○終業時間に応じて柔軟に下校させられる。 ▲購入費用がかかる。 ▲車庫設置に費用がかかる。 ▲教師が運転は考えにくい。 ▲運転手の関係から使いたいときに使えない可能性あり。			
4	楯岡交通ジャンボタクシーを利用	☐ ハイエースを購入しても運転手は楯岡交通に依頼することから、車両も楯岡交通のものを利用する。		○ハイエース購入費用がかからない。 ▲事前の予約が必要となり柔軟な対応困難。			



検討項目		No.35		学童保育(放課後児童クラブ)			R7.8.21 作成	
《スケジュール》				【部会名】	学校運営部会	【担当者】	菅原憲一(子育て)(秋久保)	
年	月	日	内容					
07	09		学校運営部会作業班打合せ(子育て課) ※方向性の検討、原案作成					
	09		学校運営部会専門部会 ※方向性の検討、承認					
	10		学校運営部会作業班打合せ(子育て課) ※内容、スケジュールの検討、原案作成					
	11		学校運営部会専門部会 ※内容、スケジュールの承認					
	12	10	東部地区統合準備委員会 ※内容、スケジュールの承認					
	12		子育て支援課にて事業設計・予算化					
08,09			学童施設整備・修繕等					
10	4		学童新体制開始					
課 題		・学童施設の検討 ・破損箇所修繕や必要備品の検討などの環境整備						
調 整		団体:子育て支援課(主管)、統合準備委員会、専門部会、学童保育運営事業者等 整備:財政課、建設課等						
予 算		100万円(概算)						
着手時期		令和7年9月						
完成時期		令和10年2月						

検討期限		令和〇年度内		説明	☒ 市長 ☒ 市議会 ☒ 学校 ☒ 地域 ☐ その他()	
No	検討案	内 容			備考(○メリット/▲デメリット)	候補
1	学童施設の設置	現状の各地区、施設で継続してはどうか			○現在の利用者であれば慣れ親しんだ場所である ○保護者の迎えにも影響がない ○基本的に運営者の変更を要しない ▲スクールバス等での送迎が必要	
2	より良い代替施設の検討	現校舎より、利便性や効率のよい施設を検討する			○こどもや保護者の利便性向上(交通の便、環境改善) ▲新たな施設の検討、利用手続きが必要 ▲スクールバス等での送迎が必要	
3						
4						

◆特記事項等

イメージ図・写真等

小学校統合における学童保育の運営について

1 基本方針（案）

小学校統合後も、各地域（楯岡、西郷、袖崎）において学童保育を継続する。
（葉山中学校区においても同様）

2 メリット

学童施設を統合した場合、施設の設置場所により児童の自宅から学童施設までの距離が遠くなり、日頃の学童施設への保護者によるお迎えや、春休みや夏休みなどの学校休校日における学童までの保護者の送迎の負担が増える世帯が発生する。

しかし、学童施設をこれまで通り各地域に設置した場合は、これまで同様であることから負担の増加とならない。

3 デメリット

市としては、施設管理費が増加する。

4 利用施設（案）

楯岡地域・・・楯岡地域放課後児童クラブ施設

西郷地域・・・調整中

袖崎地域・・・袖崎小学校

※各学童保育運営事業者と協議・検討中

5 その他

①デメリットとなる国の補助金減額については、学童保育が安全に運営されるよう必要な支援を検討する。

②また、統合時は各地域に学童保育施設を設置するが、その後において、地域から学童施設の統合に関する要望があった場合は、楯岡地域放課後児童クラブ施設に集約することを検討する。

③今後、現年少児童から小学校3年生を対象とした、学童利用に関するアンケート調査を実施予定。

検討項目			No.53、54		基本・実施設計、校舎改修工事			R7.8.21
《スケジュール》					【部会名】	校舎整備部会	【担当者】	細谷祐太
年	月	日	内容					
07	8		原案作成開始					
07	9		アクションプランに改修想定とし設計費を計上 (改修想定箇所:ランチルーム、調理室、校舎内外改修、グラウンド)					
07	11		R8当初予算に統合改修構想基本設計を予算化					
08	6		準備委員会に構想基本設計発注について承認					
08	7		構想基本設計発注					
09	1		原案完成(準備委員会により承認)					
09	3		総合教育会議により原案(改修案)決定、構想基本設計完成					
09	6		準備委員会に実施設計発注について承認					
09	7		実施設計発注					
10	2		総合教育会議により設計決定、実施設計完成					
10	6		工事発注					
11	3		工事完了					
課 題	・教育委員会として改修範囲を決定することが重要(工事範囲によっては工事発注の前倒しが必要) ・工事範囲によっては工事期間中の代替え施設が必要になる。 ・増改築が必要な場合は改修場所の検討が必要(敷地が狭い) ・本郷通り線の進捗により改修に影響がでる(車庫の建設や駐車場の確保など)							
調 整	・改修工事がある場合は学校、財政課、政策推進課、建設課(設計及び工事発注依頼)との調整が必要							
予 算	令和8年度予算計上(構想・基本設計)							
着手時期	令和7年8月							

検討期限		令和8年度内		説明	☒ 市長 ☒ 市議会 ☒ 学校 ☒ 地域 ☐ その他()		
No	検討案	内 容			備考(○メリット/▲デメリット)		候補
1	改修範囲	・改修範囲の構想が必要			・ランチルーム、調理室の改修、体育館空調設備 ・南校舎増築 ・スクールバス車庫建設 ・駐車場拡幅 ・グラウンド改修		
2	改修工事	・改修範囲により工事発注の前倒しが必要			・増築が必要な場合		
3	改修工事中の代替施設	・調理場改修時は給食をどうするか検討必要					